

1 本年度の重点教育目標

進んで学び 豊かな心で やりぬく子

2 本年度の取組の重点

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| ① 子供を授業で笑顔にする | ③ 保護者・地域を安心と信頼で笑顔にする |
| ② 子供を人と人とのかかわりで笑顔にする | ④ 組織力向上と様々な教育課題に対応できる人材の育成 |

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
子供を授業で笑顔にする	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた、授業実践を行うことができたか。	a		A	A	今後も、子どもの笑顔あふれる継続的な取り組みをお願いします。
	ICTの活用，特に一人一台端末を有効に活用した実践を行うことができたか。	b	実践と課題を繰り返しながら教員同士の交流機会を増やし効果的な活用につなげる。	A	A	試行錯誤的な取り組みも多いと思われていますが、密な情報交流とチームワークで取り組みを継続してほしいと思います。
子供を人と人のかかわりで笑顔にする	体験を通して，人と人のかかわりを学び，豊かな心の育成を図ることができたか。	b	コロナ禍の限られた活動ですが，しっかり目的をもたせ計画的に活動を推進する。	A	A	今後も活動は限られたものになる可能性は大きいですが，体験はとて大切なことですので，計画的な取り組みを継続していただきたいと思ひます。
	自己肯定感を育てる指導等を通して，いじめの未然防止を図れたか。	a		A	A	誰一人同じ人格を持つ人はいません。したがって，人と人は違って当たり前です。様々な人の中で，まず自分を認め大切にすることが，他の人をも包み込める心と力を育てるのだと思います。これからも，子ども個々を見つめ理解を深めながら，自己肯定感を高める実践を継続してほしいと思ひます。
保護者・地域を安心と信頼で笑顔にする	家庭の教育力を高めるための啓発や取組ができたか。	b	状況を説明し，家庭への協力の必要性を粘り強く啓発する。	A	A	家庭と学校は教育の両輪です。それがうまく機能するには，方策にあるように「粘り強さ」が必要と思ひます。根気強く地道な実践の積み重ねに期待しています。
	C・Sを活用し，家庭・地域が一体なった学校運営を推進できたか。	b	地域との交流の活性化を図り，共に子どもを育てる活動を広げ，高める。	A	A	・教職員の異動に伴う，当初の協働，参画の意識が，変化することなく継続して行けるといいですね。それは，地域（町会組織）も同様と思ひます。 ・高齢化の著しい地域社会にあって，多世代交流および地域の声を学校運営に生かすことは必要不可欠です。今後も時機をたえず活性化の取り組みをお願いしたいと思ひます。
組織力向上と様々な教育課題に対応できる人材の育成	時代の要請・課題に応えるため，チームまた個々が高まるマネジメントができたか。	a		A	A	世はまさに多様化の波にもまれ，しかも激流です。意図的な「個とチーム」の高まりが子どもを育てるのだと思ひています。時代のニーズを読み取る先見性と柔軟な発想力に基づく協働体制づくりに継続的に取り組んでほしいと思ひます。
	子供とかかわる時間創出のため，業務改善に向けて取組を進めることができたか。	a		A	A	やはり，子ども理解が基盤となりますね。きわめて多忙な中での教職員の皆様の奮闘に敬意を表すとともに，今後も，子どもファーストの視点からブレることなく育て上げる教育に邁進していただけるよう期待しています。

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた（8割以上）
b	概ね達成できた（6割以上）
c	十分ではない（4割以上）
d	達成できなかった（4割未満）

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり，取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが，若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが，若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。